

住んでるマキを新発見！！

街のオリジナルかるたを作ってみよう！

自分の街には魅力がいっぱい！普段使っているあんなものやこんなものも作っているんだ！

作ったかるたで遊んでみよう！



えんかいだー
動きだす
ねしよまるこ

『推奨学年』 小学生
『時間』 40分～60分
『定員』 5名～10名

主な利用ツール: アイパッド、プリンター

会場条件: 特になし

作品の持ち帰り: 可(データのお渡し、印刷したもの)

ワークショップの狙い

- ・身近なものを擬人化する。
- ・燕三条の特産を知って貰い、それを擬人化する事により更に親しみを持って貰う。
- ・かるたと言うアナログ的な遊びをデジタルに変える事が出来る。と言う事を知って貰う。

ワークショップ手順

写真	手順	子ども達への働きかけ	時間
	<p>自分たちが住んでいる燕三条地域の魅力を伝えます。</p> <p>産業、観光、など</p> <p>産業に関しては普段当たり前に使っているものを作っているなどを伝えます。</p>	<p>身近なものが自分たちの地元で創られているという驚きを与えるような説明をします。</p>	<p>5分</p>



今回はアイパッド標準メモアプリを使います。
iOS9のメモアプリ
※手書き機能は iPhone 5 以降のデバイスに対応。

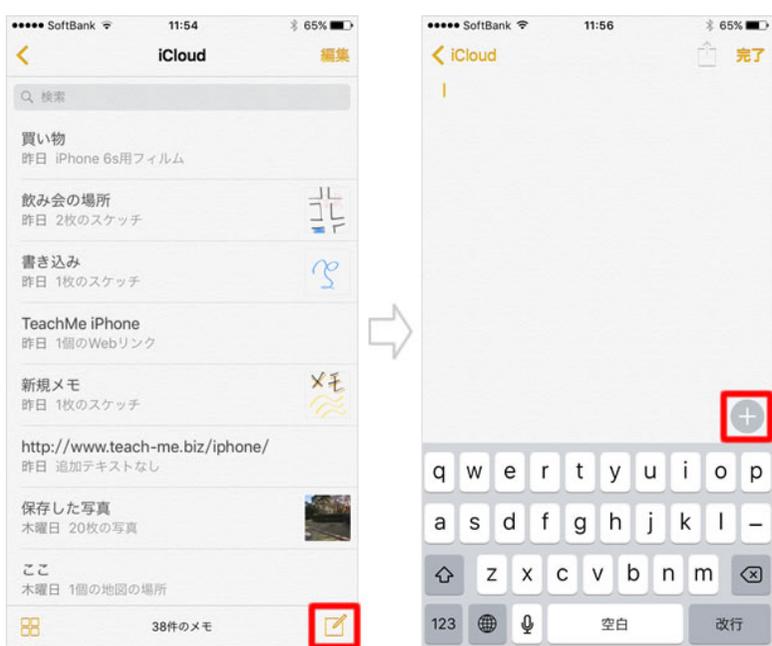
悩んでいる子には
「不思議だなあ〜と思った事ない」
「なんでこうなるんだろ?と思った事は」
などと話しかけ、会話の中から導き出せるようにする。

実際に子供たちに操作してもらいます。

悩んでいる子には
「ものを作るときに使う道具は」
「ものを食べるときに使う道具は」
などと話しかけ、会話の中から導き出せるようにする。
「これはどういう事?」などと話かけ、
作った意図を引き出しやすくする。

褒める事を忘れない。

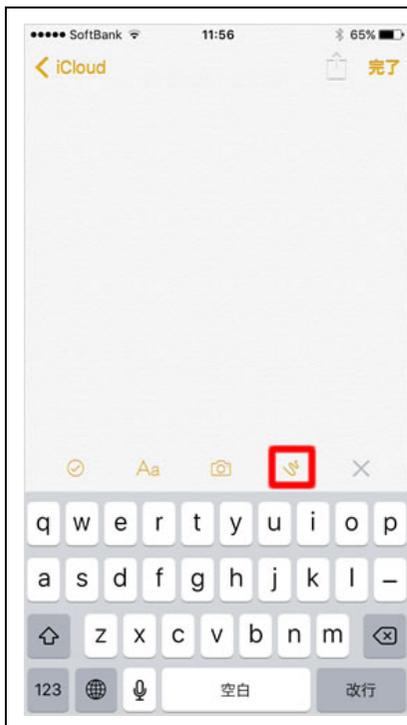
アイパッド
操作
20分



メモアプリの説明

新規作成ボタンをタップして新規メモを開き、キーボード右上の【+】をタップします。もちろん、既存のメモを開いてもいいですよ。

実際に子供たちに操作してもらいます。



iOS 9 から新たに加わったチェックリストや書式、そして、やり方が変わった画像またはビデオ添付のボタンが並んでいますが、その隣の**スケッチボタン**をタップしましょう。

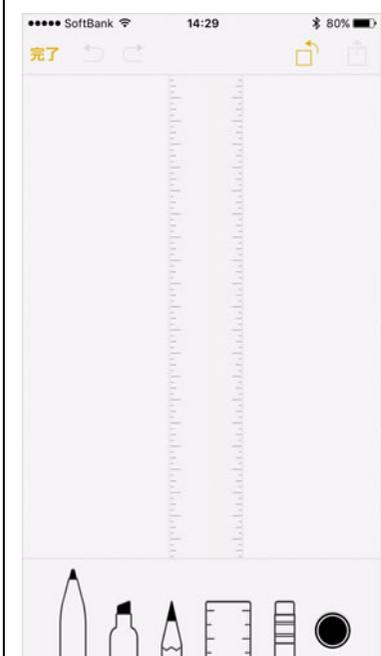
実際に子供たちに操作してもらいます。

	<p>下から描画ツールが出てきて、スケッチ画面になります。ここに指先でスケッチしていきます。</p>	<p>実際に子供たちに操作してもらいます。</p>	
	<p>スケッチには、3種類のペンが用意されています。使用するペンをタップして選択しましょう。</p> <p>ちなみに、現在選択中のペンは、よきと一段高く表示されます。</p>	<p>実際に子供たちに操作してもらいます。</p>	



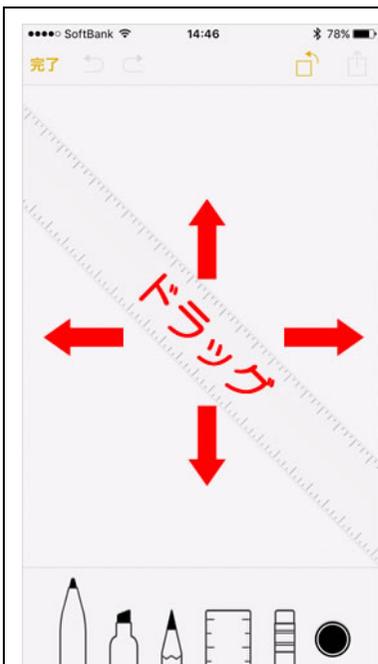
定規アイコンをタップすることで、定規の表示 / 非表示を切り替えられます。

実際に子供たちに操作してもらいます



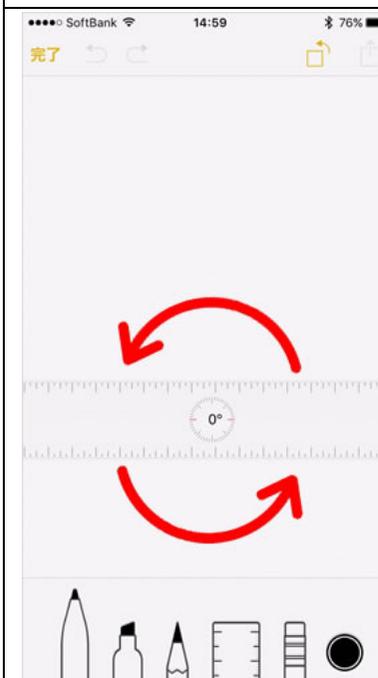
2本指でスケッチ画面を長押しすることでも、定規を表示できます。定規はタップした指に沿う形で表示されます。左図は2本の指を垂直に並べてタップしたものです。

実際に子供たちに操作してもらいます



定規を**一本指でドラッグ**すれば、角度を変えずに自由に移動できます。

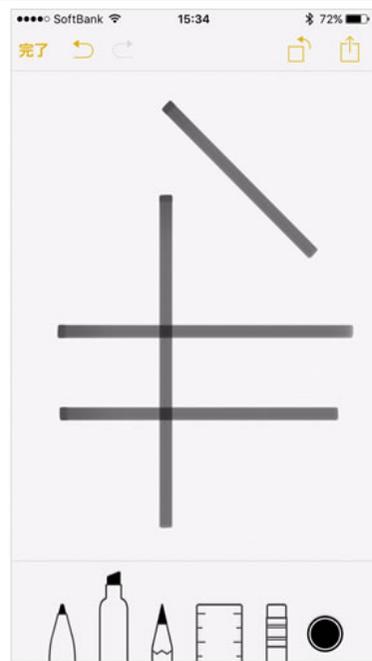
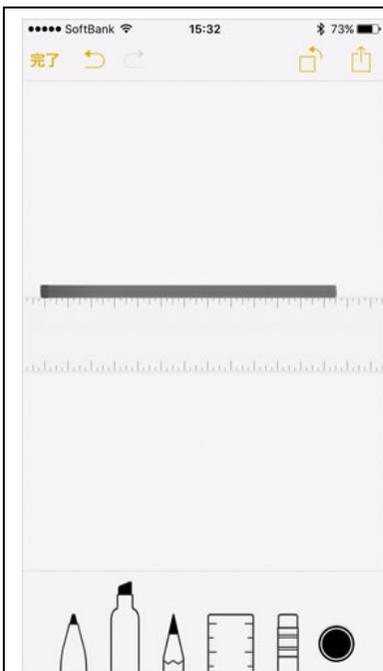
実際に子供たちに操作してもらいます



定規を**2本指でタップして、そのままひねるジェスチャー**をすれば、角度を変えることができます。角度は数値で画面に表示されるので、正確な線を引くことができます。

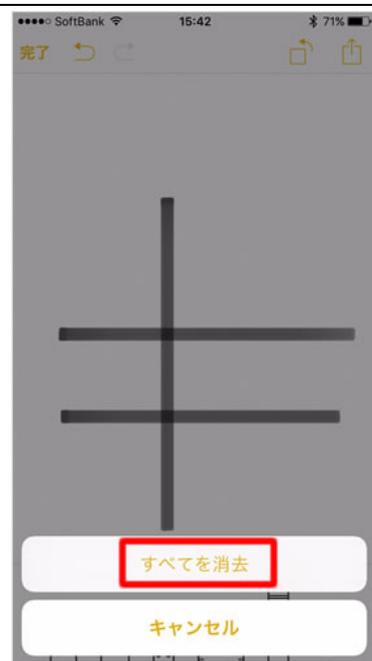
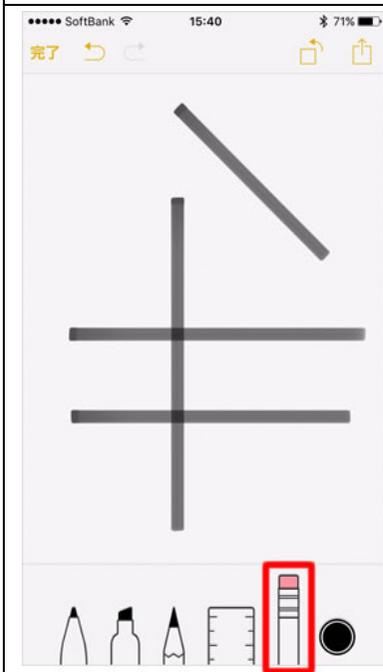
実際に子供たちに操作してもらいます

ひねるジェスチャーは、片手でやるよりも両手を使う方がやりやすいかもしれません。



あとは、定規に沿って指をスライドさせるだけで、直線を描くことができます。

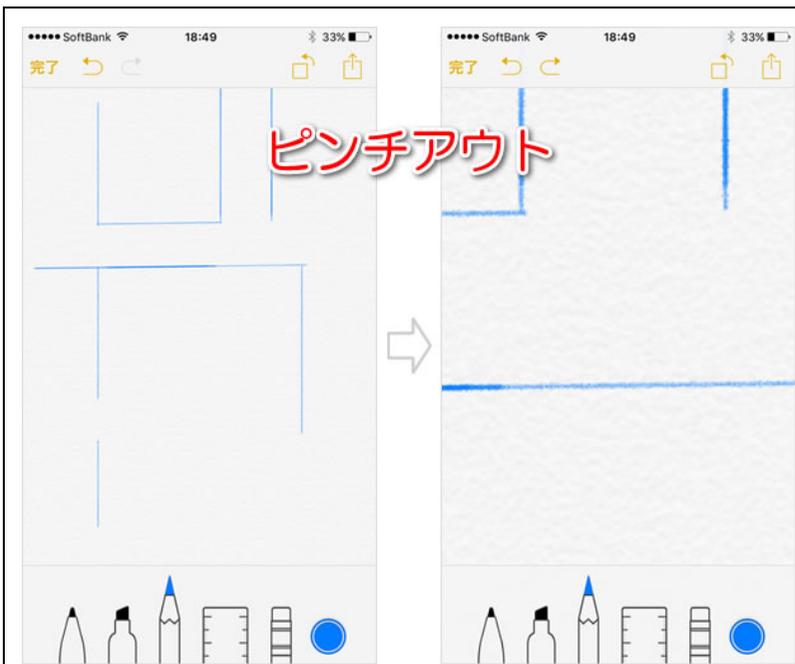
実際に子供たちに操作してもらいます



消しゴムアイコンをタップすれば、実際の消しゴムを使う感じで、描写したものを消していくことができます。また、消しゴムアイコンを長押しすれば、**【すべてを消去】**することができます。

実際に子供たちに操作してもらいます

	<p>描画ツールの右端には、選択中の色が表示されていますが、これをタップすると、カラーパレットが出てきます。1度に表示されるパレットは8色ですが、パレットを左右にスワイプすれば、他の色も選択可能。色は全部で24色用意されています。</p>	<p>実際に子供たちに操作してもらいます</p>	
	<p>スケッチ画面では、ピンチインとピンチアウトが使えます。より精細なものを描きたいときには、画面を拡大させましょう。拡大画面で2本指ドラッグを使えば、画面を移動できます。</p>	<p>実際に子供たちに操作してもらいます</p>	



スケッチ画面では、**ピンチインとピンチアウト**が
使えます。より精細なものを描きたいときなど
は、画面を拡大させましょう。拡大画面で2本指
ドラッグを使えば、画面を移動できます。

実際に子供たちに操作してもらいます



えんかいたー
動きだす
ぬしよまるこ

これらの機能を使って、絵札が完成させます。
(時間があればカラーにします)

読み札も作成し、プリントアウトします。

実際に子供たちに操作してもらいます

制作ノートを元に完成させます。

上手く行かない時は思い切って最初からやら
せてみるのも有りだと思います(時間が有った
ら)



作ったかるたでかるた取りをします。

- ①読み札を読む
- ②みんなで読まれた札を取る
- ③取られた札を作った子は妖怪の説明やなぜ、この妖怪を作ったのか発表する

①から③の繰り返し

かるた取りに合わせて発表する事で「発表する」と言うプレッシャーを軽減させる。

5分

- ※ ファシリテーターは正解を与えず、子供たちの想像力が発揮できるように促す。
- ※ 子供たちが何故絵札の内容にしたかを話し合いをさせる。
- ※ 先の答えを与えず、その先が想像出来るように進行する。